

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点をふまえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	レ		ひつじクラスは人数に比べて狭く感じるが、ベッドや畳みを保育室からなくす事により改善し過ごせている。
	②	職員の配置数は適切であるか	レ		食事場面で職員多く配置され安全に給食を食べれるようにしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	レ		必要に応じて、視覚的な刺激を減らしたりしながら、落ち着いて生活できる空間をクラスを構成する子どもの特性に合わせて配慮している。段差はあるが、必要に応じてスロープ（取り外しできる）を置き安全に座位保持イスでも移動できるようにしている。
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	レ		消毒や清掃を毎日しっかり行っている。空気清浄機を園内に配置し換気にも心がけている。広いスペースが必要な活動では、ホールを活用している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	レ		個別支援計画の立案や振り返りの場面で、担任の職員も含めて話し合いを持ち、意見を出し合っている。
	⑥	保護者等向け評価表より、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意思等を把握し、業務改善につなげているか	レ		全園児の保護者を対象に評価をお願いし、頂いたご意見を職員で確認し改善に努めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	レ		園内に掲示、およびホームページにて結果を公表することにより周知に努めている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		レ	第三者による外部評価は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	レ		内部研修を2ヶ月に1回予定している。発達に関する基礎的な知識や事例検討会を行い、日々の保育療育に活かせるように心がけている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	レ		ひとりひとり成長に合わせて、目標・支援内容をご家族のニーズも踏まえて作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	レ		園児共通の情報収集シート・アセスメントシートを用い評価を行っている。遠城寺式発達検査により発達段階の評価を行っている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援本人支援及び移行支援」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	レ		言語・コミュニケーション、人間関係・社会性など発達課題を細かく分けながら、ひとりひとりにあった具体的な支援内容を設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	レ		毎月、クラス担任で振り返りを行い支援の見直しをしている。

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	レ	クラス毎に子どもたちの特性に合わせ活動内容を担任が中心になって立案できている。
	⑮	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	レ	季節ならではの活動も取り入れたりしながら、同じ内容のプログラムが重ならないように工夫できている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	レ	個別での作業療法・言語療法・音楽療法を随時行っている。クラス単位での集団活動や少人数での運動遊び等を行っている。
	⑰	支援開始前には職員で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容の内容や役割分担について確認しているか	レ	役割分担や職員配置等、確認を行っているが各クラスの活動内容等の細かい部分の確認は行っていない事もある。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	レ	毎日打ち合わせを行っている。打ち合わせは一日の様子や気づいた点などを振り返る時間を持っている。また、業務で打ち合わせに参加できない職員にも伝達するようにしている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	レ	一日の様子を個別に記録に残している。内容を担任や主任とも確認する機会を設け支援に繋げている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	レ	年に2回定期的なモニタリングを行なっている。児童発達支援管理責任者も保育療育に参加しながらモニタリングを行なっている。また、担任より聴き取りを行いながら見直しの必要性を確認している。
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	レ
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等も関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	レ	入園前の母子が参加できるアネモネ教室や地域の子育て教室に職員が参加し地域との連携を行っている。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係と連携した支援を行っているか	レ	医療的ケアが必要な子や重症心身障害のある子は本年度在園していないが、てんかんのある子への対応等、医療機関や放課後等デイサービスと連携をとりながら対応している。
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	レ	㉓と同様
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	レ	並行通園の子に対して、通園先の先生とも定期的に連絡を取り、共通理解のもと支援できるようにしている。
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	レ	教育委員会や小学校の先生より、見学の依頼があれば、ご家庭の同意のもと、受け入れ情報交換を行っている。必要に応じて書面にて就学先へ情報提供を行っている。
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	レ	他施設の研修にも積極的に参加し、情報交換を行っている。
㉘		保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	レ	コロナにより機会が減少しているが、隣接する幼稚園と行事を一緒に行ったり、園庭で交流する機会を持っている。希望者には隣接する幼稚園の絵画教室や英会話居室に参加できるようにしている。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	レ		可能な限り参加している。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか	レ		連絡帳や、お迎え時に一日の様子等を伝えたり、家庭での様子を聞いたりしながらやり取りを活発に行うように意識している。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	レ		親子音楽療法や行事の場面などで、職員、子ども、家族の関わり場面を設けている。日々の悩み事等をお話する機会を設けながら、対応方法について一緒に考える機会を設けている。
保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	レ		毎月、報告を行っている。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	レ		年に2回面談を行い、支援計画の内容の説明を行い、同意を得ている。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	レ		連絡帳や送迎時に聞かれる悩み、また個別に電話での相談事項にも担任を中心に時間を設けて一緒に考える機会を設けている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	レ		コロナの影響もあり保護者会による交流会は1度行うことが出来た。希望は多いので開催回数を増やしていけるよう対応したい。
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に相談しているか	レ		相談に対しては即時対応するようにしている。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	レ		月報、クラスだよりを毎月発行し、活動の様子が分かるようにご家族に発信している。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	レ		ご家庭に個人情報の取り扱いに関する同意を頂きながら、取り扱いには十分注意を払っている。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているのか	レ		必要に応じて説明を丁寧に行っている。外国籍のご家庭には、ローマ字表記などの書面を作成し分かりやすくなるように配慮している。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	レ		コロナ禍で、地域の方を招いた行事(バザーなど)を行なう事が出来なかった。
非常時等の	④1	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	レ		防犯マニュアルが未策定。災害に備えた訓練は毎月1回行っている。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	レ		地震、火災、水害、不審者侵入などを想定した訓練を月に一回行っている。

対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	レ	入園児に服薬の有無の確認を行っている。また、在園中に必要となった服薬も随時ご家庭より報告を頂けるようにしている。
----	----	------------------------------------	---	--

	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	レ	病院受診をしてもらい指示書をもっている。アレルギーの因子の確認や給食の食材の確認などこまめに行い注意しながら対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	レ	ヒヤリハットの報告書を作成し、園長、主任を交えて事態の共有と防止欄の検討を行っている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	レ	虐待防止委員会により、虐待に関する研修を行っている。
	④⑦	どのような場合に已むを得ず身体拘束をおこなうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		身体拘束等適正化対策委員会を設け、園全体として対応している。現在、身体拘束にあたる対応は園内で認められていない。

○この事業所における自己評価結果(公表)は事業所全体で行った自己評価です。